

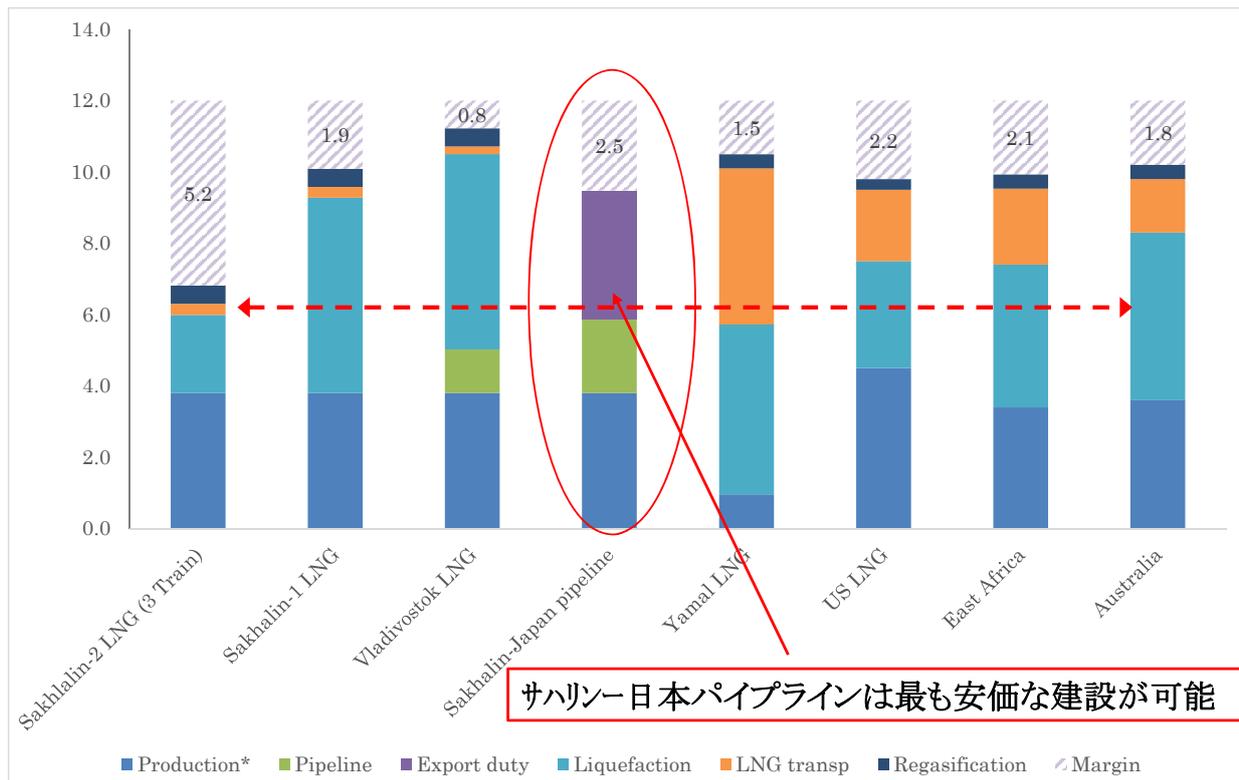
サハリン - 日本海底パイプラインルート



パイプライン全長:
(宗谷海峡より茨城県鹿嶋まで)-
1,400km *
(117kmの陸上部含む)

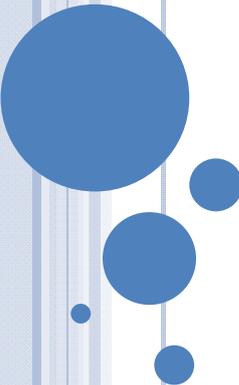
パイプ径: 26 Inch
設計圧力: 21Mpa

他供給手段(LNG)との経済性比較(試算)



＝ 日本・ロシア双方にとってのメリット及び課題＝

利点	
日本	ロシア
ガス供給源の多様化	アジア向け輸出に占める日本のシェア拡大による輸出先多様化、それに伴う高い需要セキュリティの確保
世界的に競争力を持った価格でのガス調達	LNG プロジェクトよりも高いネットバック収入
国内ガスサプライネットワークのレジリエンス強化	輸出関税による連邦歳入の増収
乗り越えるべき課題	
・世界的に競争力を持ったガス価格メカニズムの確保	
・パイプラインプロジェクトの経済・技術フィージビリティに関する理解の促進	
・日ロ両国における国内利害関係者間の調整	



「天然ガスインフラ整備・活用委員会」
(NIDUC)のご紹介

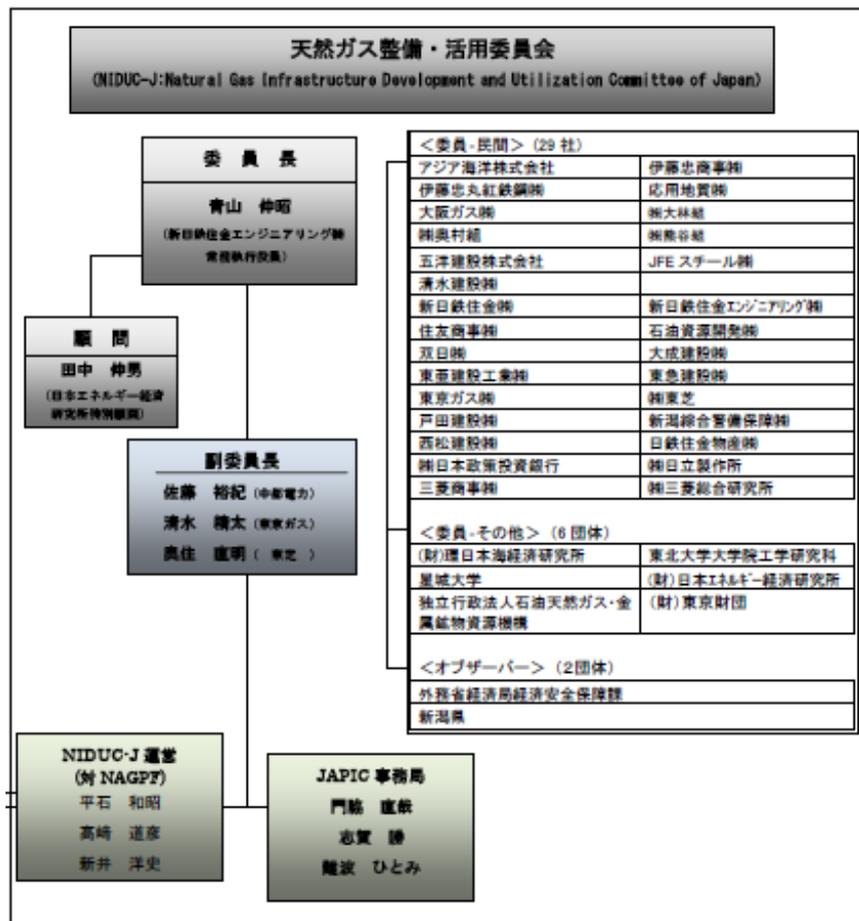
1. 委員会設立趣旨

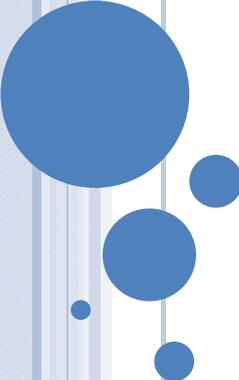
- ▶ 日本の天然ガスの安定供給、競争力ある価格の確保及び効率的利用に向けた施策の検討・提言

【主要検討課題】

- 国内天然ガスパイプライン網整備
- 日本向け天然ガス価格引き下げ
- 天然ガスの効率的利用の促進
- ▶ 「北東アジア天然ガス開発・利用委員会 (NAGPF-J) 意志の継承」
 - 北東アジア天然ガスパイプライン網の整備による域内エネルギーセキュリティ確保
 - 北東アジア主要国間 (中国・韓国・ロシア) の天然ガスに関するネットワーク形成

<日本プロジェクト産業協議会 (JAPIC) >





NAGPF (NORTH EAST ASIA GAS PIPELINE FORUM)の御紹介

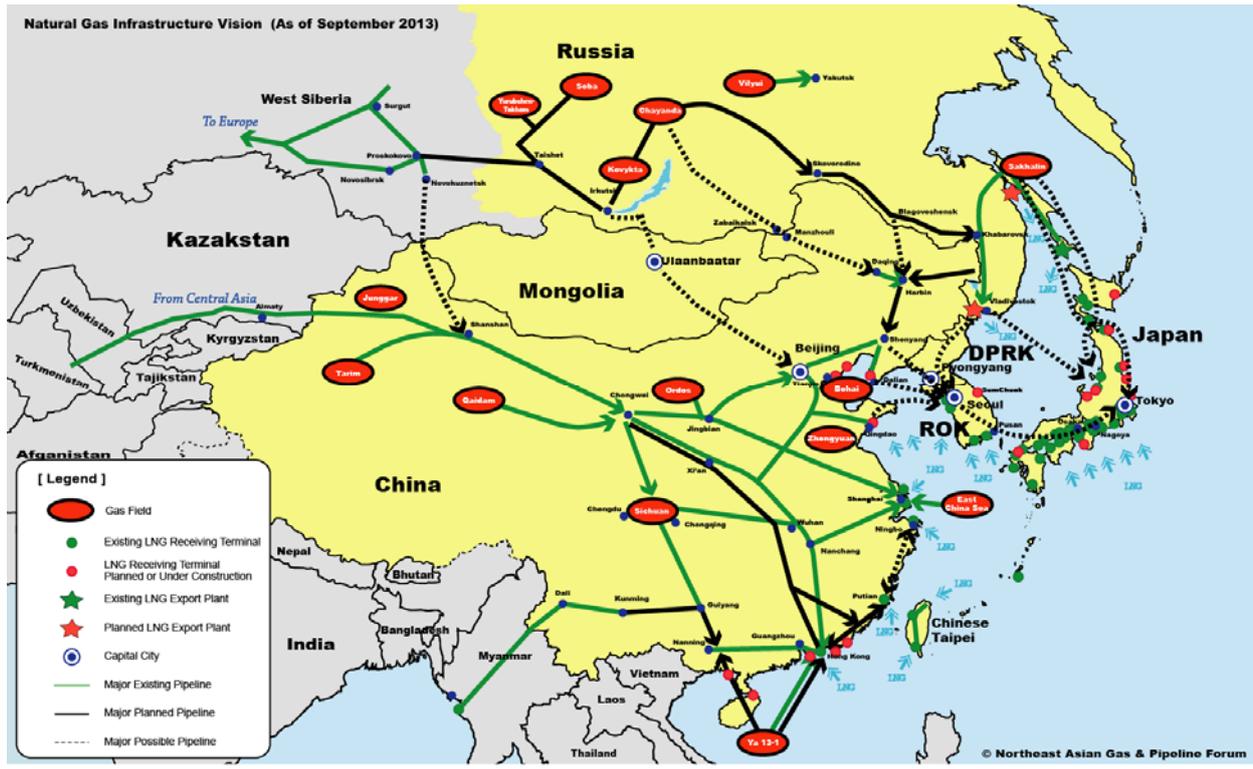
NAGPFについて

- 我が国が提唱し、1995年より開催されている日本・中国・韓国・ロシア・モンゴル間の国際フォーラム
- 天然ガスインフラ整備に向けた国際協調を狙いとし、情報交流、国際共同研究を実施
- 年一回、国際会議またはExecutive Committeeを開催

NAGPF日本代表： 田中 伸男氏(日本エネルギー経済研究所特別顧問)

事務局長： 平石 和昭氏(三菱総合研究所部長)

Blue Print for North East Asia Gas & Pipeline Infrastructure



END

＝ご清聴ありがとうございました＝

